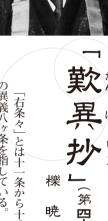
とそうらいければ、「聖人の御智慧才覚 信房の信心、ひとつにはあるべきぞ たまいて、「いかでか聖人の御信心に善

一ならんともう

さばこそ、ひがごとならめ。 ひろくおわしますに、

(真宗聖典六三九頁)





講述

ではなくて、信心が異なる。 異なるとか、領解の程度が異なるとか の異義八ヶ条を指している。 これは信心が異なる、つまり学問が 「右条々」とは十一条から十八条まで

ども法然上人の信心と弟子の信心が げている。「故聖人の御ものがたりに、 同じ人は少なかった。 わっている。弟子の数は多かったけれ 百八十人以上僧侶の弟子が居たと伝 おかりけるなかに、」『御伝鈔』の中に三 法然聖人の御とき、御弟子そのかずお の強い断定をしている。その証拠をあ **「おこりそうろうか」とは、** 断定以上

そのゆえは、「善信が信心も、聖人の御

にして、御相論のことそうらいけり。 しけるにこそ、親鸞、御同朋の御なか

信心もひとつなり」とおおせのそうら

いければ、勢観房、

念仏房なんどもう

す御同朋達、もってのほかにあらそい

なじく御信心のひとも、すくなくおわ

弟子そのかずおおかりけるなかに、お

よりおこりそうろうか。故聖人の御も がたりに、法然聖人の御とき、御

右条々はみなもって信心のことなる

を誇りに思っていた人が多かったと云 上人の教えを聞いている期間が長い事 と云うならば、弟子に早くなって法然 知識とか教養を誇らしげに思い、もっ 人は少なかったという事は皆、自分の 往生の信心において法然上人と同じ

### 光照寺寺報

発行所 真宗大谷派 弘興山 宗教法人光照寺

₹331-0821 さいたま市北区別所町102-2 電話:048-651-2781代 FAX: 048-651-2753 E-mail

yasuragi@beige.ocn.ne.jp ポームページ http://koshoji76.jp 発行人 池田 孝郎 なった。 つであります。と云われている。 正しいか、誤りかを決定して頂く事に (当寺ご法話抜粋要約、 云うのか法然上人の御前にてどちらが しかし、なおどうしてそういう事を

文責副住職

生するという信心に於いては全くひと

唯円大徳が云われている。 観の違い、だからそこに問題が起こる。 た事がある、という話を聞きましたと りしていれば素晴らしい、常識的価値 れども、昨日来た人でも信心がはっき ていた。そんなことは関係無いのだけ い為に、新参者だという気持ちを持っ 信心が同じ人が少なかったからこ 反対に新米の人は聞法の期間が短 親鸞聖人が御同朋の中で議論され

聖人と師匠の信心が同一なわけがな あるが勢観房、 い、と云って議論が沸騰した。 人の信心も同一である。とのことで その内容は、親鸞聖人の信心も法然 念仏房が新参者の親鸞

とつなら間違いだが、しかし浄土に往 たら、親鸞聖人は智慧、才覚の面でひ 鸞)の信心が同一といえるのかと云っ どうして法然上人の信心と善信 (親



報恩講勤行



報恩講講師 志慶眞文雄先生

> 埼玉組奉仕団感報
> 予供会報告
□ 本書 三月二十日(日)午後一時三十分厳修

詳細は三頁

去・現在・未来」に於いて、普遍たる絶対

その探求され続けている先は、

過

む

住職

池田

孝郎

の真実・真理でありましょう。

ない喩え通りです。 ッキリしていても、現在地が分からな れることは、地図を持って、目的地がハ に特定することが可能です。よく言わ た。今日ではG・P・Sで現在地を一瞬 ことに難儀したことが多々ありまし 道に迷って地図を見て、等高線で山の 地理院の地図を持って登りましたが いと、目的地には辿り着くことが出来 形を描いてみても、現在地を特定する

うか。 はどうしたら、この人生を歩み切り は地図も磁石も役には立ちません。で 人生の目的を遂げることが出来ましょ

ことと云われます。 と目的を持って、自己の確立をはかる それには多くの人が云うには、目標

自他共に成就することと云えば大変 恪勤すること、そして、社会に貢献し と、あるいは、与えられた場所で精励 えられない問いであることです。その 立派な志でありましょう 人の才能を見い出し発揮し成就するこ 「自己の確立とは」を問えば簡単には答 それでは、「人生の目標、目的とは」、

間論」、「空間論(場所論)」、「主体論」と

も探求され尽して今日に展開している して展開しております。仏法に於いて

ことです

も根本命題であることです。哲学的に テーゼであり、出世間の仏法に於いて

「時間、空間、主体」の論となり、「時

じるものであります。

勿論、世間に於いても、哲学の根本

このテーマは、一切の問いと相い通

てみたいと思います。

この度、「今、ここ、私」について考え

げると申すのでしょう。 この事を世間では「立身出世」を遂

若い時、よく山を登りました。国土

ましてや、人生の巨大迷路を歩むに

が出来ます ば、「世間より出でて、出世間に身を立 てて、本来のいのちに立つ」と頂くこと この「立身出世」 ] も仏法用語へ返せ

であります。 就を求める求道を示す言葉です。人間 界を芸術、無色界を思想・哲学として 界」を現わして、政治・経済を欲界、 を出ることは出来ないことを示す仏語 を「出世間」といい、本当のいのちの成 さまと云い当てて、「三界」を超える道 表現し、この「三界」を現実世界のあり は如何に世間で出世しても迷いの世界 仏法の「三界」は「欲界・色界・無色 色

生してからの西暦です。 今から二千五百年前に、釈尊、孔子、ソ 時五十九分三十秒以後に生まれたこ クラテス、プラトンの聖人、賢人が誕生 午後十二時とすると、人類は午後十 ら三十億年、人類誕生から百万年と としかならないのであります。そして し、地球誕生を午前零時とし、現在を 地球誕生から四六億年、 今年は二千十六年でキリストが誕 生物誕生か

断こそ、「今、ここ、私」を自覚する 在の時間の流れ)、「カイロス」(時の切 ラ」(永遠の時の流れ)、「クロノス」(現 断)があります。このカイロスの時の切 「時機純熟の回心の時です。」 古代ギリシャの時間概念に、「フロー

### 真の依 り処

私はこの法で助かりたい救われた 佛法とはどういうものかを尋ね、 先生のお話しを聴聞させて頂き、 さいました。身も心もずたずたで 縁ありまして檪暁先生に出遇う事 地獄を歩んでいました。幸いにも 亡くし、悲しみのあまり生きる望 さんとおもいたつこころのおこる をばとぐるなりと信じて念佛もう 不思議な用きがある事を教えて下 が出来ました。先生はお念佛には 生きることも死ぬことも出来ない みが見えなくなり、後追いを考え、 あずけしめたまうなり。次回続 とき、すなわち摂取不捨の利益 議にたすけられまいらせて、往生 た。歎異抄第一章弥陀の誓願不思 の体験をよく話して下さいまし い旨を申しました。先生はご自身 ん。十三年前大切な長男を自死で こんなに悲しい辛い事ありませ

### 岡田ノリ子

翰 着 0) ことこそ、 本当 敉 (『真宗入門『歎異抄』のこころ』) 番篴ざけてしまう わ 一の救い れた気 人間を から になる

- 3月20日(日)春分の日
- ·午後1時30分~3時30分 まで(1時受付)
- ・光照寺本堂にて
- 勤行·法話

※準備の都合上、出席人数をご連絡 下さい。預骨されている方は率先 してお参り下さい。 ご参詣をお待ちしております。

・3月17日(木)

~23日(水)の期間 (但し20日は除く)

※ご希望の日にちをお知らせ下さい 時間につきましてはこちらで調整 させて頂きます。ご自宅か当寺の いずれかで読経いたします。

遮られているのを日々感じます。 山が見えてとても見晴らしの良 ビルやマンション、 天気が良ければ、 使用下さいと書いてありました。 を歩いたとき、 山が見えたものでしたが、 でなくても西の 場所のようで、 西方に沈む夕日を見て浄土を 最近というか、 一階部分の建物の渡し通路 遠くのものを見る視界が 晴れた日は富士 そんなに高い場 何十年か前は 写真撮影にご 又 方を見ると富 空気汚染 ける、 念ずることが願われて て下さった諸仏です。 たい思います [悩を超える阿弥陀様の浄土を みの只中で生きる私たちに、 生老病死の身の事実を教え )き人は生きている私たち

苦しみ悲

様のお悟りの命の尊さと、

生老病死の

四

持ってもらい勤

行をしました。

お釈迦 を受

ました。

子供達にそれぞれの調声

八名の参加を得て、

子供報恩講が勤修さ

去る十二

一月十九日

(土)大人十一名

池

田

つりを

L

ま

誕生佛に甘茶

は四月 恩講でした。

日 致

金

(釈徹照

だ中にあって、苦悩を抱えたま 過去の昔話みたい思われる現代 ま生きていける世界を頷いて することすら難しいという中 社会の中で、又、浄土をイメージ る機会を「お彼岸」 る娑婆は苦しみ悲しみのまった い念ずるということが、 浄土とは何か、私たちの生き そう願われて教えて下さ |と頂いてい 遠い

最近、

大型ショッピングセンタ

」という紙芝居を見ました。谷口さ 恵美さんの紙芝居 品 h

と豚汁、 お斉は 話もありました。 キ等々おなかい 頂きました。 手 ホット 巻き寿 机



、ます。

司



子供報恩講 子供会「ポニークラブ」

ま をかけてお参り す。 お出か け



と陽

子さん

0)

法 手

0)

トラン

プの

卓球の様子



集合写真

ピンポン」 女楽し -球台に見たて にぎやかな み を老若 ま



次回

谷口さんのマジック



. ഇന്നെതനത്തനത്തെത്തുന്നത്ത്രത്തനത്തനത്തെത്ത

帰敬式を受けて

### 埼 組 仕 团

感想をお寄せ頂きました。この紙面を 式を受式された松村さんに代表して お借りして御礼申し上げます。 五名が参加し有意義な二日間を共に が京都東本願寺へ上山し、一泊二日の 寺さんがご門徒さんと一緒に七十名程 しましたこと感謝申し上げます。帰敬 職、淡海氏、三輪氏、藤原氏、松村氏の 七日、「埼玉組奉仕団」として、県内のお 1程を過ごしました。 当時から副住 平成二十七年十月二十六日~二十

副住職池田孝三郎)

慶眞先生が、「われ―それと人を物扱い を差別化し裁いている罪。報恩講で志 の深さが浮かびます。思い込みで相手 智慧と慈悲の深さと同時に、自分の罪 うか」と自問している自分がいました。 絶対的な平等が成り立たないからだろ しても相手を差別化してしまうので、 他力なのか?自分を頼む自力ではどう すれば、自分も物となっている」と言わ てくださいました。「深」を思えば、仏の ーを飲んでいてふと気がつくと、「何故 した。早く京都駅に着いたので、コーヒ て上山し、二十七日に帰敬式を受けま ご住職は法名に「深」の文字を入れ 一十六日に埼玉組奉仕団とし 弘

れましたから、人間を物としている罪

と言えるかと。

のせいか、込み上げてくるものがあり ました。ご住職 信偈を称えました。歴史の刻まれた場 同朋会館では朝昼晩、三帰依文と正



0) 0)

光照寺の参加者の皆さんと

日目

「野坂寺」→ (昼食)→三峰神光照寺→秩父十二番札所

できました。心 からお礼を申し 名を頂くことが をはじめ光照寺 お陰で無事法 方々の励まし

帰敬式受式の松村さん

上げます。



埼玉組奉仕団御影堂を背景に

野坂寺にて集合写真

者の方々の感想をお寄せいただきまし た。皆様にこの紙面をお借りして御礼 事長川澄氏、幹事淡海氏、谷口氏。参加 山へ』と題して秩父へ旅行しました。幹 父観光と長瀞舟下り・国宝妻沼の聖天 一日、光照寺旅行『彩の国を巡る旅、秩 平成二十七年十一月二十一日~二十

編集長 副住職池田孝三郎

日目

→農園ホテル宿泊

社→(バス車中で住職法話)

ホテル→秩父まつり会館→

長瀞舟下り→ (昼食)→フォ

# 移動聞法会は揺れるバスの中

谷妻沼、 レスト

」国宝)→光照寺 (買物)→聖天山

真剣に手を合わせ祈っております。う の順を待っております。そして皆々が 派な本殿が眼前に現れました。さらに 本殿への階段には人々が列をなし参拝 た木間を通り抜けると御神木の杉と立 は夕暮れが迫っておりました。長く続 けない手違いも重なり三峰神社到着時 道路は車、名所は人、人。更に思いが 冷やりとさわり、緊張した精気が漂う っそうとした山中の湿った空気が肌に く階段を息を弾ませ登りうっそうとし 秩父路は紅葉の盛り、 折しも連休。

ように包み込む。これが人々を信仰に



野坂寺

きました。三峰神社で祈る人々の信と をとらえるのではなくその文から深い を講題にご領解を伺いました。文字面 きながら | 信がなくはいたずらごとよ\_ 聞かせて頂く私共も右に左にと揺れ動 となりました。話される御住職様も、 をつけてカーブの続く狭い急坂を下り なることなのか再度考えさせていただ る信ではなく なく如来から賜った信であると。対象 意味をいただく。 自分が信ずるのでは ます。そんな中で日程の遅れを取り戻 日が沈みあたりは暗闇。バスはライト うか。参拝が終わりバスに戻る頃には に対して願いを叶えてもらうように祈 す為に前例のないバスの中での聞法会 ひきつける山の不思議な力なのでしょ 賜るということはいか

> だくことができました。 リアでき幹事共々安堵し、 で申し訳ないような聞法でした。ホテ ルに無事到着し初日の日程を何とかク 夕餉をいた

# 光照寺旅行、初めての埼玉路へ

もありか、との思いと、浄土真宗のお寺 の拝観がない、との思いが交錯しまし 秩父に行くことに決まったとき、´これ 光照寺旅行の目的地として、初めて 正 司

盛り」とのことで、わくわく気分で出 過ぎていたようです。 揚、しかし、残念ながら紅葉は盛りを 熊谷の聖天山が主な目的地に。 昨日のテレビ放送では「紅葉は今が 紅葉の秩父路、紅葉の長瀞舟下り 晴天で気候もよく、さらに気分高

があり が、防守さまから、、初孫は、との声かけ 勝・J1復帰が嬉しかった、としました をお題に、皆さんが一言ずつ発言。 色で、とても残念に思いました。 たのですが、なぜか、期待した緑が灰 葉樹が散在している景色を期待してい 私は、、大宮アルディージャのJ2優 夕食時には、「今年嬉しかったこと」 面の常緑樹の緑の中に赤や黄の落

めるかなど、頭がいっぱいになってい ズのこととか、ビンゴをどのように進 して、大宮アルディージャ提供のグッ 光照寺旅行のビンゴ特任(?)幹事と ギクッ!

真宗が指し示す信との開きを感じ取る

ひとコマでした。半分乗り物酔いの中 たようで、孫のことをすっかり忘れて

も来宅中で笑顔を振りまいています。 事だったかも? のことを発言できなかった事は、 孫の笑顔が生きがいの私として、 孫もすでに生後八ヶ月になり、 ー ` 大 孫

謝のみ。 が、ご住職の心遣いに、 って、初めてバス車内で実施しました 初日の法話は時間が押したこともあ 幹事として感

三峰神社の参拝

んに感謝いたします。 き、ご住職ご家族・旅行参加者の皆さ また、無事に旅行を終えることがで

えたのでした。 これも、弥陀の他力によるものと思 釋正定 合掌



三峰神社入口

秩父路—移動開法会— 足跡を尋ねる旅」と置き、「遠くへ、近く へ」と「スイング方式」で毎年旅行幹事 光照寺の旅行の原点は、「親鸞聖人の 住職 池 田

の方々が計画して進めて来て下さいま

父路を企画され誠に新たな発見の連 続でありました。 此度は最も近い足元の埼玉県で、

悪く参加出きず、 の車中で住職がピンチヒッターで、先 定を変更して、三峰神社の下りの道中 ホテルでの法話の予定は、先生が体調 を実感致しました。佐々木玄吾先生の 内外のパワースポットになっているの 方々も多いのには時代の趨勢を感じ 大勢の観光客に驚き、又、外国人の 三峰神社へは夕暮時に差し掛かり 又、交通の渋滞で予

世界は圧巻でした。 聖天堂は県内唯一の国宝建築になり、 りの風情を満喫したことです。妻沼の 酒も美味しく、部屋も良く最高でし は山の高台で見晴らし良く、 お話しさせて頂きました。農園ホテル 生の講題「信がなくはいたずらごとよ 岩畳を見、急流と瀞の変化は秋の名残 た。長瀞の舟下りは荒川の源流であり (蓮如上人御一代記聞書、二二五条) を 一百五十年の歴史と江戸彫刻の極彩 食事もお

上げ、参加された皆々様に厚く御礼申 びに幹事、淡海氏、 し上げます。有難うご座居ました。 この紙面を借り、 谷口氏に感謝申し 幹事長川澄氏、並

は以外でした。 ましたが、此の度、 を訪ねて」と称しての旅として出発し 光照寺旅行は「親鸞聖人ゆかりの地 秩父路へ訪れた事 池 邦

を聞き続ける事の大切さを頂きまし より発見がある自己中心性の我、そこ 登り、お参りが出来ました。参拝者が に止まらず釈迦、アミダのすすめの声 に向かう車中での住職の法話、迷いに 国内外を問わずの多さに圧倒、 に向かう途中娘に背中を押されやっと 三峰神社には夕方到着、階段や本殿 ホテル

となりましたが、皆様と共に過ごせた 色々ハプニングあり、発見ありの旅

れたものでした。

事に感謝申し上げます。有難う御座居 ました。



三峰神社にて

### 秩父で念仏旅行

副住職 池 田田 奈 (二歳) 孝三郎 美

関わりがあることから、縁はどのよう うのを聞き、善光寺は親鸞聖人と深い 結願は秩父で、結願したら長野の善光 四国、坂東、秩父の日本百観音巡礼の の土徳は薄いことを考えさせられまし にもつながることを願いながら企画さ 寺に参拝するのが慣例としてあるとい た。秩父には札所巡りがありますが、 と聞かれ、改めて、埼玉における真宗 から、埼玉に真宗のご旧跡があるの? た。参加者や旅行に興味を持った方々 今回、 初の県内旅行を企画しまし

> 法話を聞き、参加者と語らう仏法讃 と感じたことでした。 嘆、すべてが旅行から頂いた念仏功徳 を通して、宗教に触れ、バスで住職の 真宗は聞法を大事にしますが、旅行

準備や打ち合わせに、川澄幹事長はじ 頂き感謝申し上げます。 め幹事さんには多大なご苦労を荷って この度の旅行を企画するにあたり



三峰神社にて

## 秩父旅行の想い出

動しました。美しい山々と素晴しい河 とかいい気分で自然と一体になり素晴 とがあり良かったと思う。 しかったです。 長瀞舟下りは紅葉と瀧の流れの音 三峰神社山々の素晴しい景色に感 石 尾 雄

より素晴しかったのは夜に窓から見え 農園ホテルではおいしい食事とか何

る夜景が素晴しかったです。

いろいろなところを拝見して大変満足 したり有意義な気分になった。その他 屋台、笠鉾の常設展示コーナーを見学 しました。 秩父まつり会館では夜祭りの主役

れしく感謝すると共に、埼玉県にもこ た。本当にありがとうございました。 んないい所がある事におどろきまし 秩父で有意義な時を過したこと、う



住職の車中での法話

# 三峰神社に参拝出来た心喜

狼 (山犬) が左右に鎮座し階段を踏しめ た目の前に朱に染まった荘厳で美しい た間を抜け登った処に鳥居様に出合い 一峰神社に出合いました。 三峰の山々の素晴しい風景に囲まれ

空海様が、 日本武尊が創建し弘法大師 観音像を安置された三峰神

ルを心に封じました。 た。右下の大きなご神木に両手をかざ 高なる興奮を覚え深く参拝致しまし 神秘な空気に圧倒され、 暫し無の心を頂き共に大きなエー 胸が熱く

加となった。

げます。 来た喜びに感動で一杯です。光照寺さ ただき幹事の方々に深く感謝申し上 ん、特に副住職に強く背中を押してい 三峰神社に生まれて始めて参拝出



車中のビンゴ

光照寺の埼玉の旅

いる。 毎回、 光照寺の旅行は楽しみにして 大 塚 誠

おり、私と長男は初日の夕食からの参 先は久々あり初めてあり あるため、妻陽子と長女真由は行程ど のことで、また期待が高まった。訪問 今回は、初めて地元埼玉を旅すると 長男雄介が午前中は学校の授業が

> では具体的に知らされていなかったた たことはあったが、温泉がこんなに良 向かい、試飲を堪能した。なかでも一杯 しんだのち、待望の と高崎線と秩父鉄道の列車の旅を楽 め、夕食時まで全く知らず、私は長男 百円の極上酒は、超まいうーでした。 宿の農園ホテルは、何度か立ち寄っ 初日のハプニングは、妻からは電話 「酒づくりの森」に

がきれいだった夜まつりを想いだした。 できたこともあり、爽快だった。 は、予約されていたためにすぐに乗船 瀞だが、順番待ちで長蛇の列の舟下り 前に極寒のなかで妻とたずね、冬花火 さて、まつり会館では、二十年ほど 例年にない枯れ紅葉が残念だった長

いとは、…その後爆睡。

うございました。 初めてだったが、素晴らしかった。 年間通勤していたものの機会がなく、 玉を満喫した二日間でした。ありがと たくさんのお土産を買い、晩秋の埼 妻沼の聖天さまは、かつて熊谷に数

## 近くて遠くは秩父なり

らず、身体の衰えが強く感じられる旅 が思うようにいかない。あたりはます 登る「神域」へたどる苦しさ、足の運び 渋滞がはげしく、途中下車して歩いて 義でした。年々歳々ほとんど景色は変 でした。夕暮せまる三峰の途上、車の 今回の「秩父旅」は大変楽しく有意 剛 Ż

秩父旅行

どりつき、お札もいただく事ができま 助かりました。幹事さんにしっかりと 幹事さんのすばらしい企画等いつもに まして感謝、感謝でございます。 泊する事が出来て大感激でした。旅行 ル」を横目にしていましたが、今回は おり、道から高台に控える「農園ホテ グ」として都合のつく月だけ参加して りしており、最近は「食べ歩きハイキン した。秩父には以前は札所巡りをした 介助していただき、どうにか神殿にた ます暗くなり、階段がつきない。でも



ホテル前にて

つも申し訳なく思っていましたが、旅 様方に感謝です。 最近お寺に行けず住職様方にはい 晴天に恵まれた良い日でした。幹事 佐々木 み つ

> ることにしました。 行のお誘いの手紙を見て早速参加す

も仏の力であろうかと手を合せまし らのお話でしたが楽しく心の中でこれ 今回はバスの中での法話でゆれなが

満足し嬉しくなりました。 には途中でダウン。でも歩けたことに 体力に自信もなくなりお参りの時

でした。本当に有り難うございまし 御馳走、温泉、久し振りにお逢いしま り、いろいろな景色を見、又おいしい した方々との会話もはずみ楽しい旅行 秩父の山々の美しさ、長瀞の舟下 南無阿弥陀仏



ホテルの食事

秩父の思いで

て参加させて頂きました。秩父は私の この度、光照寺の旅行に去年に続い 田 中 郁

市内を一往復しました。 のに一回も行ったことがありませんで 住んでいる日野からそんなに遠くない でした。バスで高速道路と一般道を通 の旅行は知った方ばかりですので安心 したので、参加いたしました。光照寺 ってわりと早く秩父に着いたのです 昼食の場所が違っていたので秩父

御住職、池田孝三郎副住職又。幹事長 呂もよく、特にホテルが高い所にあっ もきれいで部屋も良く食事もよく、風 の農園ホテルに向かいました。ホテル 神秘的な山で明るい時ならもっとよか 社がありました。南無阿弥陀仏と念仏 はないかと思われました。その先に神 けるのみこと)の像が立っていました。 坂を歩いていくと、日本武尊(やまとた 日は土曜日とあって、目的地に近づく スムースに進んで行きましたが、この どんどん登って行き、車も最初の頃は ました。秩父市内を通り過ぎて、道は ので、どんなところかと期待しており た。三峰神社の名前は聞いていました たです。今回も良い旅行でした。池田 ったと思いました。それから今日の宿 して感謝申し上げてきました。とても この神社は日本古来の山岳信仰の山で ました。バスを降りてから神社までは 駐車場に着いた頃は少し暗くなってき か前に進みません。やっと三峰神社の につれて車が渋滞してきましてなかな て秩父の街が一望出来て素晴らしかっ 一十、三十分かかるという事で、上り 一日目の目的は三峰神社の参拝でし

の川澄英明様に御礼申し上げます。



秩父まつり会館にて

### 秩父三峰神社

この神社は、 つめた秩父の山奥に三峰神社がある。 年 いわれている。 尊の国造りを偲んで祀ったのが起源と 景に感動し、いざなぎの尊・いざなみの 日本武尊が三峰の山々の素晴らしい風 た見事に色づいた紅葉並木の坂を登り 日光いろは坂のような曲がりくねっ 今回の旅行は埼玉県に住んで五十 初めての県内旅行である。 東征中にこの地を通った 正

秩父の旅

場へ入るための渋滞にあい、我々が訪 八年は良い年となるよう精進して過ご られた。このパワーを頂き、平成二十 パワースポットと言われる所以が感じ とした境内がより一層神秘性を増し、 れた時刻が夕暮れ近いせいかウッソウ 連休ということもあり神社の駐

かったと思っております。

そうと思う。 また、次回の旅行会を楽しみにしてい **ご同行の皆さんお世話になりました。** この旅行を企画された幹事の方々



長瀞ライン下りにて

た。今回の旅行は三度目の参加になり 、九州の旅、には体調不良のため、残念 ます。今年は元気で参加でき、本当に良 ながら参加することができませんでし でも私の心に残っております。昨年の 昨年の、茨城の旅、は思い出深く、今 原 自 雄

れ育った島根の山間部の景色に似てい た。秩父は地理的に近く、また私が生ま 年間県北の深谷に住まいしておりまし 三十年ほど前になりますが、私は数

> 様と旅行できた御縁をありがたく思っ ドライブやキャンプをしたものです。そ ることもあって、休日にしばしば家族で んな懐かしい土地を、 今回は同行の皆

くさんで、秩父の秋を満喫いたしまし 二日間の旅行でしたが内容は盛りだ ております。

ちな野菜の味を楽しみ…。満足、満足で 楽しみ、食事では日頃不足して忘れが 代的には新しいものでしたが、坂東の 供養菩薩は宇治平等院の雲中供養菩 み。ホテルの露天風呂で秩父の夜景を 父の仏教文化の根の深さを感じました。 山奥の地でこのような仏達に会え、秩 薩を彷彿させるような作りでした。時 秩父十二番札所野坂寺の本堂の雲中 |峰と長瀞船下りでは紅葉を楽し

験でありました。 満ち、話された御住職もそうでしょう ら立って説法される住職の姿は迫力に ーブの多い山道を、足を踏ん張りなが うこととなり、バスの中での 会、となりました。ホテルまでの急なカ 遽、三峰神社からホテルへの移動中に行 であったのが、スケジュールの都合で急 を頂きました。当初、ホテルで行う予定 っても聞法会でした。御住職から法話 そんな今回の旅行での圧巻は何と言 聞く我々にとってもめったにない経 **移動聞法** 

幹事の皆様をはじめ、 残してくれた旅行となりました。旅行 色々なことがあり、 共に旅行をさせ 色々な思い出を ばらしいものでした。

を見守っているかの様です。それはす きれいに並びまるで下にある家や私達 人で落葉のお掃除をしているほほえま ばあちゃま、お母さん、お孫さんの三 でした。とてもとても広い境内を、お

しい姿を見ました。又お墓が何段にも

なりました。ありがとうございました。 ていただいた皆様には色々とお世話に

思い、もっと色々な所に目をやり遊行

したいと思いました。

出掛ていた自分が、とてもはずかしく

お隣りの秩父なのに観光地ばかり

姿、彫り師のすごさを見せられました。



長瀞ライン下り



聖天山にて

### 私の旅行記

典 子 秩父十二番札所野坂寺

今回の旅行の中で野坂寺が一番好き

たきれいなおいしい料理を頂きまし にゆき、寄居町と秩父を往復しながら 町の「すし勝」でとてもおいしいちらし した。期待通りの新鮮な野菜を活かし ながめ、丘の上の農園ホテルに着きま 寿しを食べ、秩父にもどって三峰神社 十二番札所野坂寺を出て昼食は寄居 天気に恵まれて、予定通り出発、秩父 平成二十七年十一月二十一日 (土)お 子

露天風呂からながめた秩父の夜景

秩父の女、今にも動き出し仕事をする もより、はるかに大きく、たくましい

ぐ左手には働く女性の像があり私ど

別棟には十三仏尊像が並び、入口す

見事でした。 は、ダイヤモンドをちりばめたように

ず、もう一度ゆっくり体験したような もあって、時期はづれたにもかかわら 臨場感があっていい思い出になりまし ると、実際のおまつりを体験したこと づ秩父まつり会館に行き一通り見学す あわせる為に早々にホテルを出て、 二日目は、長瀞ライン下りの時間に

照寺に着きました。

楽しい有意義な旅を企画して下さい

国宝、聖天山に寄り、

予定通り無事光

がとうございました。

心よりお礼申し上げます。これからも ました旅行幹事の皆様とお寺の方々に

又良い旅をお願い申し上げます。

さいといわれ、ビニールのおおいのま 切りぬけて、水しぶきに気をつけて下 ぶりと水をかぶって、 ん中にいたのに、なぜか私だけがざん 船頭さんの見事なさおさばきで急流を が、うむを云わせず上手にのせられて ないとのことで、一家族離されました 着き場に案内され、一舟では乗りきれ 長瀞に着くと、バスを降りてすぐ舟 水もしたたるい

がありますが、

長瀞のライン下りを思

光照寺旅行では、いろいろな思い出横 江 省 宏

い出します。



国宝聖天山

女になりましたが、 楽しい舟下りで

> のお言葉です。 船といえば、 思い出すのは行巻のこ

頭が、緩急鮮やかな船旅を演出してく どこを通れば良いかも知り尽くした船 転ず」船に乗ればまさに船頭任せ。ど れました。 こで流れが速くなるか、水をかぶるか、 浮かびぬれば、至徳の風静に衆禍の波 「大悲の願船に乗じて光明の広海に

とのことでした。 だ私ですが 、船頭はいつも真剣勝負だ 船に乗せられたまま船旅を楽しん

味わわれたご縁でした。 陀大悲の願があればこそと有り難く 阿弥陀仏の毎日は、 弥陀大悲の願船に乗せられて、 常に真剣勝負の弥

した。

食べて、パンと洋菓子の直営工場「フォ

レスト」で買い物をして、熊谷市妻沼の

寄居町の料亭 「園」でおいしい昼食を

♥敬弔

### ま 寺務所より

●微風学舎

労を偲び、念仏合掌して哀悼の意を表 が浄土へ還帰されました。生前のご功 します。 (平成二七年十二月四日命終 小刀称栄様 (総代、護持会副会長) 七九歳

### ▼法要のご案内

●春季彼岸会法要 三月二十日 (日)、午後一時三十分より厳修

### ●光照寺護持会

年間行事では総会を六月二十六日 会員の方は護持会費の納入をお願 とご案内しましたが、 中。別紙案内をご覧下さい。 い致します。又、随時新会員受付 (日)に変更致します。 六月十九日

## ●聞法会のお知らせ

# ●親鸞聖人のみ教えに聞く会

講師は延塚知道先生(大谷大学特別 でいます。 任用教授) 三月一日、六月六日、午後 時半~四時半。『教行信証』を学ん

下さい。

### ●大経の会

当持参して下さい。 **偈讃仰』(五)を学んでいます。お弁** 佐々木師と住職の担当月別。『正信 八日、午前十時~午後三時。講師は 三月二十七日、四月二十九日、五月

### 我聞の会

三月十四日、 四月十一日、 五月十六

> 著)を学んでいます。 職。「真宗の簡要」(住職著)、サブテ 目 キスト 「無量寿経に聞く」(松原祐善 午後二時~四時まで。講師は住

活」を学んでいます。三月十六日、四月 ブテキスト「今日のことば」「真宗の生 ける現生不退の視座 - (副住職著)、サ は副住職。「顕浄土」の教学 - 親鸞にお 毎月開催。午後七時~九時まで。講師 十九日、五月二十三日

## ●さいたま親鸞講座

衢亮先生。 ル。四月十六日、六月十一日。 午後二時~四時。会場は大宮川鍋ビ 。講師は四

# ●報恩講の日程について

年間行事では十月三十日とご案内し 話を頂戴します。 致します。講師は田畑正久先生にご法 ましたが、十一月二十六日(土)に変更

### ◆お願い

下さい。 ご自宅で法事の際は駐車場をご用意

住所・電話番号変更の際は必ずご連絡

### 俳句・川 柳

吉澤 光昭

凍瀧の音のかすかや壺に落つ 欄干の雀も仰ぐ初日の出 子等集い他愛なき事初笑い つなぐ手に血潮行き交う初詣

顕誓

祖師像の御衣かがよふ春の風 異邦人眼には眼をとや冴返る 微風舎は法堂みせて花は実に 風花の行方は誰れも知らざりき 他力とは弥陀のはからひ風光る 弥陀のはからひ

### 出 恒

海峡の鮫が九条脅かす 二つ目の花火を上げたニュートリノ



Control of the last

玄吾

三十六人お斎に並ぶ 刷りし初版は勿ち完売 師逝きて二十年目の報恩講 師の徳の広大なれば五百冊 佐々木



のだ… 的に考えたい。『いのち』の根本的 ち』だ。人間の愚かさ傲慢さを徹底 とか。共にかけがいのない ずだ。『戦わない』とはどういうこ の問題を抜きにしてありえないは の幸福追求に留まる。仏道は社会 心は常に流動的でどこまでも個人 国益をかけ主張しあい、国民の関 が絶えず平和はほど遠い。お互い で混沌とし、戦争・貧困に苦しむ人 のか。世界はシリア難民・テロ問題 立したが、本当に国民の為だった 未然に防ぐ為といって安保法が成 平和な暮らしを守り抜き、戦争を な願いを聞くように願われている 世論が交差する中で国民の命と いの

南無阿弥陀仏。 釈尼雅亮

- 日本の一様な日本の一様な日本の一本なななの一のか日を後一のか日を後一の古日の



市田柿&干し柿 邦興 山田 画